

戸隠中学校による小鳥の巣箱掛け

～60年続く伝統行事～

1967

2024

今年も実施！

令和6年4月11日、戸隠森林植物園内で戸隠中学校による小鳥の巣箱掛けを行いました。



残雪の多い園内で巣箱掛けを行う生徒(上)と早くも咲き始めるミズバショウ(下)

春の象徴「ミズバショウ」が咲き始める陽気の中、残雪により歩きづらい園内で、生徒達は製作した新しい巣箱を協力しながら設置しました。

作業後、生徒達は思い思いに感想を話しながら、笑顔で植物園をあとにしました。

60年前



昭和42年の愛鳥週間に初めて行われた戸隠小学校による巣箱掛け

巣箱掛けの始まりは…?

この行事は、昭和42年(1967年)から約60年間行われており、「鳥の生態や自然への理解と関心を深めること、野鳥の営巣の手助け」を目的として実施されています。